

内令第千八百八十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍機雷學校

兵 曹、水 兵

九十人

機關兵曹、機關兵

十人

内令

二五七

0235

(別表)

掌電信兵(特)關係要員配置表

(昭和十八年内令第千七百七十五號)

所屬	配員先	特務士官			下士官		
		横	吳	佐	横	吳	佐
第一聯合通信隊司令部	第三、四、六	二	三	一	六	三	二
第四艦隊司令部	第三、五、六	三	三	二	一五	一〇	三
南東方面艦隊司令部	第一、二、八、 根、五、通、信、隊	一	二	三	八	四	一〇
南西方面艦隊司令部	第二、四、 根、通、信、隊	四	五	三	二〇	三〇	一〇
上海在勤海軍武官府	第五十一通信隊	一	一	一	一〇	五	一〇
第五艦隊司令部	第五十一通信隊	一	一	一	一〇	一〇	一〇
聯合艦隊司令部		一	一	一	五	五	一〇
第二艦隊司令部		一	一	一	五	五	一〇
第三艦隊司令部		一	一	一	五	五	一〇
第六艦隊司令部		一	一	一	五	五	一〇
第十二航空艦隊司令部		一	一	一	五	五	一〇
特務艦隊司令部		一	一	一	五	五	一〇
横須賀海軍通信隊		三	三	一	一〇	一〇	一〇
吳海軍通信隊		一	一	一	五	五	一〇
佐世保海軍通信隊		一	一	一	五	五	一〇
舞鶴海軍通信隊		一	一	一	五	五	一〇
高雄海軍通信隊		一	一	一	五	五	一〇
大湊海軍通信隊		三	三	一	一〇	一〇	一〇
鎮海海軍通信隊		一	一	一	五	五	一〇
大阪通信隊		一	一	一	五	五	一〇
羅津通信隊		一	一	一	五	五	一〇
大和田通信隊		五	三	四	一〇	四〇	三〇
幌筵通信隊		一	一	一	五	五	一〇
横須賀海軍通信學校	特班教員	一	一	一	一〇	一〇	一〇
軍令部派遣勤務	軍令部特務班	一	一	一	五	四	三
合計		三	二六	二三	一八一	一〇七	三六三

備  
 一 本表ノ人員ハ當該各部ニ臨時増置(軍令部ニ在リテハ派遣勤務)トス  
 二 本表ノ人員ハ昭和十八年官房人機密第九五號及同第九六號ニ依リ高等科電信術練習生ノ特班  
 又ハ普通科電信術練習生ノ特班ヲ專修シタルモノト看做サレタル者及今後特班教程ヲ修了スル  
 者ヲ以テ之ニ充ツルモノトス  
 考  
 本表ハ昭和十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ配員ハ概ネ昭和十八年末迄ニ完了スルモノト

内令第千二百十三號

昭和九年内令第四百十六號別冊艦艇、特務艦艇機關使用限度標準表中別表ノ通改正ス

別表ハ海軍省軍務局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千二百十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第千八百八十二號中「風雲」ノ下ニ「萩風」ヲ加フ

昭和十八年内令第七百八十一號中「島風」ノ下ニ「萩風」ヲ加フ

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦萩風、野分、嵐、舞風

兵 曹、水 兵

五人(掌砲兵一)

参照 昭和十七年内令第千八百八十二號ハ驅逐艦滿潮等ニ人員臨時増置ノ件  
昭和十八年内令第七百八十一號ハ驅逐艦島風ニ人員臨時増置ノ件

内 令

一一八九

0237

内令

一一九〇

内令第千二百十五號

昭和十七年内令第三百六號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

表ヲ左ノ如ク改ム

分工場ヲ置ク地	呼稱	分掌事項
神奈川県平塚市	横須賀海軍工場造機部分工場	鑄鍛造荒削ニ關スル事項
山口縣宇部市	吳海軍工廠宇部分工場	機械及同部分品ノ造修ニ關スル事項
備考	吳海軍工廠宇部分工場ハ吳海軍工廠直屬トシ其ノ分工場内ニ於ケル區分等ニ關シテハ吳海軍工廠長ノ定ムル所ニ依ル	

参照 昭和十七年内令第三百六號ハ海軍工廠ノ分工場ヲ置ク地、呼稱及分掌事項ヲ定ムルノ件ナリ (内令提要卷一、三〇ノ六頁)

内令第千二百十六號

昭和十六年内令第九百二十九號聯合艦隊司令部ノ部中

0238

0239

「特務中少尉、兵曹長 附 二人（吳、佐世保鎮守府在籍者 各一）  
 兵 曹、水 兵 二十二名（掌電信兵 〔横須賀鎮守府在籍者 一三〕  
 〔佐世保鎮守府在籍者 一八〕）ヲ削リ第二艦隊司令部ノ部中

「特務中少尉、兵曹長 附 一人（佐世保鎮守府在籍者）  
 兵 曹、水 兵 二十一名（掌電信兵 〔横須賀鎮守府在籍者 一三〕  
 〔佐世保鎮守府在籍者 一八〕）ヲ「兵曹、水兵 九人（掌  
 電信兵 高三）  
 暗號兵 五」ニ改ム

昭和十七年内令第千二百八十三號中「特務中少尉、兵曹長 附 一人（佐世保鎮守府在籍者）ヲ削  
 ル  
 左ノ内令ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年六月十五日  
 海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十六年内令第七百七十八號（羅津通信隊（會文分遣隊）等ノ人員臨時増減ノ件）  
 同 年内令第千二百七十五號（第三艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件）  
 同 年内令第千四百二十九號（第六通信隊ニ人員臨時増置ノ件）  
 昭和十七年内令第四百五十四號（第八通信隊ニ人員臨時増置ノ件）

内令

一一七一

内令

- 同 年内令第九百六十號 (第五艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第九百六十一號 (第六通信隊ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第九百九十三號 (大和田通信隊ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第一千五百號 (第一南遣艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第一千五百二十七號 (第一南遣艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第一千五百二十九號 (大和田通信隊等ノ人員臨時増減ノ件)
- 同 年内令第一千五百六十四號 (聯合艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第一千七百二十一號 (舞鶴海軍通信隊 (中北條分遣隊) 等ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第一千八百八十九號 (第五十一通信隊等ノ人員臨時増減ノ件)
- 同 年内令第一千二百二十五號 (第一聯合通信隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件)
- 昭 和十八年内令第五十五號 (南西方面艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第六百六十一號 (第一聯合通信隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)
- 同 年内令第五百六十四號 (第六艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)

0240

内令第千二百十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍通信隊

兵 曹 長 一人

兵 曹、水 兵 二十人(掌電信兵)

東京海軍通信隊

兵 曹、水 兵 二十人(掌電信兵 一〇)

千島方面特別根據地隊

兵 曹、水 兵 十人(掌電信兵)

第三特別根據地隊

兵 曹、水 兵 十六人(掌電信兵 一三  
空暗號兵 四)

第二十一航空戰隊司令部

第二十二航空戦隊司令部

兵 曹、水 兵 四人(掌電信兵)

内令第千二百十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

海軍艦政本部

大 佐 出仕 一人

兵科、技術科佐尉官又ハ技師 出仕 兼務十人

技 術 科 佐 尉 官 出仕 二人

吳海軍工廠

中少將、技術中少將 出仕 一人

技術科佐尉官又ハ技師 出仕 兼務十三人  
兼務七人

0242



<p>書 記 附 臨時一人</p> <p>技 手 附 四人</p> <p>減員</p> <p>海軍艦政本部</p> <p>技 手 四人</p>	<p>内令第千二百十九號</p> <p>當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p> <p>昭和十八年六月十五日</p> <p>海軍大臣 嶋田繁太郎</p> <p>第二海軍工作部</p> <p>技 師 部員 臨時一人</p>	<p>内令第千二百二十號</p> <p>當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p>
---	---	---

内令

一一九五

0243

内令

二一九六

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二百一十一設營隊

第二百三十一設營隊

中尉 三人  
少尉 三人  
技術中尉 三人

内令第千二百二十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

山中海軍病院

主計兵曹、主計兵

一人(掌理兵)

内令第千二百二十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

0244

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

海軍艦政本部

兵科、技術科佐尉官

出仕

六人（兼海軍省軍需局員）

第一海軍燃料廠

書

記

附

八人（兼屬トシテ海軍省軍需局ニ於テ勤務セシムベキモノ）

技

手

附

四人（海軍省軍需局ニ於テ勤務セシムベキモノ）

減員

第一海軍燃料廠

書

記

附

二人

技

手

附

一人

第二海軍燃料廠

書

記

附

四人

内令

一一九七

0245

内令

第三海軍燃料廠

技

書

手

記

附

附

二人

二人

一九八

0246

内令第千二百二十三號

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

昭和十八年六月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

伊號第七十九潜水艦

内令第千二百二十四號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年六月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ一中「第七十八」ノ下ニ「第七十九」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ五六頁参照)

内令第千二百二十五號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令

一一九九

0247

内令

一三〇〇

昭和十八年六月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表共ノ十六中「第七十八」ノ下ニ「第七十九」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三〇頁参照)

0248

内令第千二百二十六號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

驅逐艦、一等ノ部中「陽炎型」ヲ「不知火型」ニ改メ同項中「陽炎」、「黒潮、親潮」ヲ削ル

(内令提要卷三、三二頁参照)

内令第千二百二十七號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

水路部定員表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、一八五頁参照)

内令

1101

0249

内令

11011

内令第千二百二十八號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等驅逐艦定員表其ノ五中「陽炎、親潮、黒潮、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四一八ノ四六頁参照)

内令第千二百二十九號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十四中「陽炎、親潮、黒潮、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四三〇ノ二七頁参照)

0250



内令第千二百三十號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部横須賀防備隊ノ項驅潜特務艇ノ欄「第十九號」ノ次ニ「第二十二號」ヲ加フ

(前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ)

内令第千二百三十一號

昭和十六年内令第千三百七十六號中左ノ通改正ス

同年内令第千五百十號中「三人」ヲ「二人」ニ、「九人(掌電偵兵(特修兵)適宜(暗號)七)」ヲ「五人(掌暗號兵)」

ニ改ム

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

表ヲ左ノ如ク改ム

内令

一一〇三

0251

内令

特 修 兵	主計兵	一人			水兵	二十九人	主計兵曹	一人	衛生兵曹		機關兵曹	一人	兵曹	一人	兵曹長		中少尉(水)隊附		少佐、大尉分隊長		東京海軍通信隊	
	工作兵				水兵	十九人		一人				二人	一人	一人				佐世保海軍通信隊	一人		高知海軍通信隊	
																						横須賀海軍通信隊
			一人																			吳海軍通信隊
			一人	一人		水兵	十人							九人								大湊海軍通信隊
						水兵	六人							二人								舞鶴海軍通信隊
						水兵	一人										一人					鎮海海軍通信隊
						水兵	一人	一人						六人	一人							
		一人				水兵	一人															

一三〇四

0252

内令

参照 昭和十六年内令第三百七十六號ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時減員ノ件  
 同 年内令第三百五十號ハ横須賀海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件

掌 暗 號 兵	掌 工 兵		掌 電 機 兵 普	掌 内 火 兵		掌 機 兵 罐 高	掌 電 信 兵		掌 砲 兵 高
	木 具	仕 上		普	高		普	高	
					一		二 九		一
						二	八	八	
	一								
		一	一					九	
							三	二	
六									
					一				

一一〇五

0253

内令第千二百三十二號

昭和十六年内令第千三百七十五號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保海軍通信隊ノ部表中佐世保海軍通信隊、穎娃分遣隊及博多分遣隊ノ各欄ヲ削ル

横須賀海軍通信隊ノ部表中八丈分遣隊ノ欄ヲ削ル

吳海軍通信隊ノ部表中吳海軍通信隊ノ欄「一人」ヲ削リ「十一人」(掌電信兵)ヲ「二人」(掌電信兵)ニ、(掌機兵内火)「一人」ヲ「一人」(掌内火兵)ニ改メ宮崎分遣隊ノ欄ヲ削ル

大湊海軍通信隊ノ部表中艦作分遣隊ノ欄ヲ削ル

鎮海海軍通信隊ノ部表中鎮海海軍通信隊ノ欄「七人」(掌電信兵)ヲ「四人」(掌電信兵)ニ改メ平海分遣隊ノ欄ヲ削ル

参照 前記内令ハ佐世保海軍通信隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百三十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0254

昭和十六年内令第千七百七十八號中「百五十二人」ヲ「百四十二人」ニ改ム

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八艦隊司令部

兵 曹、水 兵

十八人(掌電信兵) (横須賀鎮守府在籍者 一三六 吳鎮守府在籍者 二)

第二十二戰隊司令部

兵 曹、水 兵

十人(掌電信兵)

第二十三航空戰隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附

一人

第八聯合特別陸戰隊司令部

兵 科 佐 尉 官 附

一人

中少尉(水)、兵曹長 附

二人

兵 曹、水 兵

三十二人(掌電信兵 二四 (佐世保鎮守府在籍者) 掌暗號兵 八)

機關兵曹、機關兵

四人(掌内火兵)

内令

一三〇七

0255

第一通信隊

中少尉(水)、兵曹長 隊附

一人

機關兵曹、機關兵

二人(掌電機兵 一)

衛生兵曹、衛生兵

一人

主計兵曹、主計兵

一人

第二通信隊

中少尉(水)、兵曹長 隊附

一人

兵曹、水兵

六人(掌電信兵)

機關兵曹、機關兵

二人(掌内火兵 一)

衛生兵曹、衛生兵

一人

主計兵曹、主計兵

一人

第四通信隊

機關兵曹、機關兵

十一人(掌内火兵 三)

工作兵曹、工作兵

一人(掌工兵)

0256

衛生兵曹、衛生兵	二人
主計兵曹、主計兵	二人
第二十四通信隊	
兵曹、水兵	二人(掌暗號兵)
機關兵曹、機關兵	三人(掌電機兵)
衛生兵曹、衛生兵	一人
主計兵曹、主計兵	一人
第二十五通信隊	
兵曹、水兵	八人(掌電信兵 掌暗號兵)
機關兵曹、機關兵	一人
衛生兵曹、衛生兵	一人
主計兵曹、主計兵	一人
輓筵通信隊	
機關兵曹、機關兵	六人(掌電機兵)

内令

二二〇九

0257

第三特別根據地隊

中少尉(水)、兵曹長 隊附

一人

兵 曹、水 兵

六人(掌電信兵 二)

第九特別根據地隊

兵 曹、水 兵

四人(掌電信兵)

第二十二特別根據地隊

兵 曹、水 兵

五人(掌電信兵 一四)

第二十三特別根據地隊

参照 昭和十六年内令第千七百七十八號ハ第三通信隊等ノ人員臨時減員ノ件ナリ

内令第千二百三十四號

昭和十八年内令第五百一號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0258



參照 廢止内令ハ第三艦隊司令部（輸送機業務ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百三十五號

昭和十八年内令第七百四十三號中「陽炎、親潮、黒潮、」ヲ削ル

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

參照 前記内令ハ軍艦格名等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第千二百三十六號

昭和十八年内令第千三十二號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

兵 曹、水 兵

四人（掌水測兵（艦）一）

内 令

二二二

0259

内令

一三三二

参照 前記内令ハ特設測量艦第三十六共同丸ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百三十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八根據地隊司令部

水兵、機關兵

五人

内令第千二百三十八號

昭和十八年九月三十日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府（茂原航空基地（假稱）設立準備ニ充ツベキモノ）

兵

曹

一人（掌帆兵）

0260

整備兵曹、整備兵 二人(掌整備兵 一)

機 關 兵 曹 一人(掌電機兵)

工作兵曹、工作兵 二人(掌工兵 木具)

主計兵曹、主計兵 二人(掌經理兵 掌衣糧兵 一)

水 兵、機 關 兵 二人

吳鎮守府

一 愛媛海軍航空隊(假稱) 設立準備ニ充ツベキモノ

兵 曹 四人(掌砲兵 一、掌電信兵 一)

機 關 兵 曹 二人(掌機兵 一)

工作兵曹、工作兵 二人(掌工兵 木具)

主計兵曹、主計兵 二人(掌經理兵 掌衣糧兵 一)

水 兵、機 關 兵 四人

二 姫路海軍航空隊(假稱) 及高知海軍航空隊(假稱) 設立準備ニ充ツベキモノ

兵 曹 二人(掌帆兵)

内令

内令

三二四

整備兵曹、整備兵	四人(掌整備兵 二)
工作兵曹、工作兵	四人(掌工兵 木具)
主計兵曹、主計兵	四人(掌經理兵 三)
水兵、機關兵	四人
舞鶴鎮守府(美保航空基地(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)	
兵曹	一人(掌帆兵)
整備兵曹、整備兵	二人
工作兵曹、工作兵	二人(掌工兵 木具)
主計兵曹、主計兵	二人(掌經理兵 一)
水兵、機關兵	二人
海南警備府(海口海軍航空隊(假稱)及三亞海軍航空隊(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)	
少佐、大尉	出仕 一人
特務士官(整)、整備兵曹長	附 二人
特務士官(機)、機關兵曹長	附 二人

0262

特務士官(工)、工作兵曹長	附	二人
特務士官(主)、主計兵曹長	附	二人
兵	曹	六人(掌砲兵 二、掌帆兵 二)
整 備 兵	曹	四人(掌整備兵)
機 關 兵 曹、機 關 兵		十六人(掌機兵 二、補機 二、掌砲機兵 二、掌内火兵 二)
工 作 兵 曹、工 作 兵		六人(掌工兵 二、木工 二)
衛 生 兵 曹、衛 生 兵		四人
主 計 兵 曹、主 計 兵		十人(掌經理兵 二、掌衣糧兵 二)
水 兵、整 備 兵、機 關 兵		四十二人

内令第千二百三十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内 令

二二五

0263

内令

川棚海軍工廠

中少尉(水)、(機)、兵曹長

機 關 兵 曹 長

主計中少尉(主)、主計兵曹長

兵 曹、機 關 兵 曹

主 計 兵 曹

附 三人

附 一人

三人(特修兵適宜)

二人(掌經理兵)

内令第千二百四十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第千二百五十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府

吳鎮守府

佐世保鎮守府

(管下航空隊及航空基地設立準備ニ充ツベキモノ)

0264

大 佐 出仕 一人

特務士官(整)、整備兵曹長 附 一人

特務士官(機)、機關兵曹長 附 一人

特務士官(工)、工作兵曹長 附 一人

特務士官(主)、主計兵曹長 附 一人

機關兵曹、機關兵 一人(特修兵適宜)

工作兵曹、工作兵 三人(掌工兵 木具)

主計兵曹、主計兵 二人(掌經理兵)

参照 前記内令ハ横須賀鎮守府等ニ管下航空隊設立準備ニ充ツベキ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百四十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一三二七

0265

海軍水雷學校

兵科 佐尉官 教官

一人

中少尉(水)、兵曹長 附兼教官(教員)

二人(横須賀、吳鎮守府在籍者 各一)

中少尉(整)、整備兵曹長 附兼教官(教員)

二人

中少尉(機)、機關兵曹長 附兼教官(教員)

一人(佐世保鎮守府在籍者)

兵 曹 (教員)

十四人

掌砲兵 三(横須賀、吳、佐世保鎮守府在籍者 各一)  
掌水雷兵 六(横須賀、吳鎮守府在籍者 各二)  
掌砲兵(能) 二(佐世保、舞鶴鎮守府在籍者 各一)  
掌砲兵(能) 二(横須賀、佐世保鎮守府在籍者 各一)  
掌暗號兵 二(吳、舞鶴鎮守府在籍者 各一)

整備 兵 曹 (教員)

二人(掌整備兵)

機關 兵 曹 (教員)

七人

掌内火兵 六(横須賀、佐世保鎮守府在籍者 各二)  
掌電機兵 一(吳、舞鶴鎮守府在籍者 各一)

0266



水路部定員表

考 備	計		長 中少將 一										
	特 務 士 官	士 官 高 等 文 官	修技所	第三部	第二部			第一部		會計部	總務部		
			長	長少將一	長少將一			長少將一		長	長		
一 本表ノ外出仕トシテ技師一人ヲ置クコトヲ得 二 部長ノ中一人ハ技師ヲ以テ充ツルコトヲ得 三 必要ニ應ジ部員タル兵科士官ニ代フルニ技師十人以内ヲ以テ充ツルコトヲ得	四 人	百二十六人 内特務一人	大 中 佐	第七課	第六課	第五課	第四課	第三課	第二課	第一課	大 中 佐	大 中 佐	
			長	長大中佐一	長	長大中佐一	長	長大中佐一	長	長大中佐一	長	長大中佐一	長
			佐	長大中佐一	長大中佐一	長大中佐一	長大中佐一	長大中佐一	長大中佐一	長大中佐一	長大中佐一	長大中佐一	長大中佐一
			附	編	部員								
			衛生中尉	中少尉(水)	修	技師	主計大尉	主計少佐	軍醫中佐	少尉	大尉	兵科佐官	
			一	三	二	七十一	二	一	八	八	二十八	二十八	
	判任文官	下士官	技手	編修	書記	衛生兵曹	兵曹						
	四百十二人	三人	三百七十三	十五	二十四	二	一						

(昭和十八年内令第千二百二十七號)

(別表第一)

(昭和十八年内令第千二百五十八號)

海軍運輸部			
所屬	名	稱	所在地
横須賀鎮守府	横須賀海軍運輸部		横須賀
吳鎮守府	吳海軍運輸部		吳
佐世保鎮守府	佐世保海軍運輸部		佐世保
舞鶴鎮守府	舞鶴海軍運輸部		舞鶴
大湊警備府	大湊海軍運輸部		大湊
大阪警備府	大阪海軍運輸部		大阪
鎮海警備府	鎮海海軍運輸部		鎮海
高雄警備府	高雄海軍運輸部		高雄
支那方面艦隊	上海海軍運輸部		上海
海南警備府	榆林海軍運輸部		榆林
第二遣支艦隊	香港海軍運輸部		香港
第一南遣艦隊	昭南海軍運輸部		昭南
第二南遣艦隊	スラバヤ海軍運輸部		スラバヤ
第三南遣艦隊	マニラ海軍運輸部		マニラ
第四艦隊	トラツク海軍運輸部		トラツク
第八艦隊	ラバウル海軍運輸部		ラバウル

0268

内令第千二百六十一號（所要ノ向ニ配付ス）

内令第千二百六十二號（所要ノ向ニ配付ス）

内令第千二百六十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

館山海軍砲術學校

軍 醫 科 尉 官 附 二人

主 計 中 少 尉 附 一人

衛生中少尉、衛生兵曹長 附 一人

主計中少尉（主）、主計兵曹長 附 一人

内令第千二百六十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内 令

一三四九

0269

内令

一二五〇

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六十七警備隊

主計中少尉 隊附 一人

内令第千二百六十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍軍需部

機關兵曹 四人(特修兵適宜)

主計兵曹 一人(掌衣糧兵)

内令第千二百六十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0270

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍兵學校

中少尉(機)、機關兵曹長 附 一人

内令第千二百六十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

館山海軍砲術學校

中少尉(水)、兵曹長 附兼教官(教官) 一人(吳鎮守府在籍者)

兵 曹 (教員) 十人(掌砲兵) 横須賀 吳鎮守府在籍者 各三  
佐世保 鎮守府在籍者  
舞鶴鎮守府在籍者 一

内令第千二百六十八號

昭和十五年内令第百五十五號中左ノ通改正ス

内令

一二五二

0271

内令

一三五二

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「舞鶴鎮守府第一特別陸戰隊」及「一」ヲ削リ末尾ニ左ノ如ク加フ

大 中 尉(水) 隊附兼分隊長 一人

中少尉(水)、兵曹長 隊附 二人

兵 曹、水 兵 六十人

機關兵曹、機關兵 四十五人

衛生兵曹、衛生兵 四人

主計兵曹、主計兵 十五人

特修兵ハ適宜トス

参照 前記内令ハ佐世保鎮守府第八特別陸戰隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百六十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時減員ス

0272

昭和十六年内令第三百九十號中「特務中少尉、兵曹長 附 二十二名（吳鎮守府在籍者八）」ヲ「中少尉（水）、兵曹長 附 十六名（吳鎮守府在籍者七）」ニ、「七百五十五人」ヲ「百六十一人」ニ、「二百十八人」ヲ「八十五人」ニ改メ「機關特務中少尉、機關兵曹長 附 一人」ヲ削ル

下士官、兵内譯ノ欄中「二百二十四人」ヲ「九十五人」ニ、「五百二人」ヲ「六十六人」ニ、「百六十六人」ヲ「四十五人」ニ改メ「二十九人」及「十二人」ヲ削ル

同年内令第三百三十一號中「特務中少尉、兵曹長 附 四人」ヲ「中少尉（水）、兵曹長 附 一人」ニ、「百七十二人」ヲ「六十一人」ニ改メ「機關兵曹、機關兵十人」ヲ削ル

同年内令第四百三十七號中「百八十一人」ヲ「二十八人」ニ、「三十九人」ヲ「十五人」ニ改メ「五人」ヲ削ル

昭和十七年内令第三百二號中「特務中少尉、兵曹長 附 二人」ヲ「中少尉（水）兵曹長 附 一人」ニ改ム

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十六警備隊

内令

二二五三

0273

内令

二五四

兵 曹、水 兵

五十人（特修兵適宜）

横須賀鎮守府第四特別陸戰隊

中少尉（水）、兵曹長

附 一人

昭十六年内令第三百九十號  
 同 年內令第三百三十一號 ハ海南警備府ニ人員臨時増置ノ件  
 参照 同 年內令第四百三十七號  
 同 昭十七年内令第三百二號ハ第十六警備隊ニ人員臨時増置ノ件

内令第千二百七十號

昭和十七年内令第二千四百二十二號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「大 中 尉（水）

隊附兼分隊長

一人」ヲ「少佐、大尉

分隊長

一人」ニ改ム

参照 前記内令ハ第二十四特別根據地隊等ノ人員臨時減員ノ件ナリ

0274



内令第千二百七十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艦大瀬

兵 曹、水 兵

二人

○正誤

本年内令第千二百七十九號中本文四行目「備考第二號」ハ「備考第四號」ノ、同六行目「第二火藥廠」ハ「第二海軍火藥廠」ノ孰レモ誤

内 令

一二五五

0275

内令第千二百七十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍砲術學校

中少尉(水)、兵曹長

附兼教官(教員)

四人

内令第千二百七十四號

昭和十八年内令第千三百三十九號中「兵科佐尉官附一人(トラック地方海軍運輸部部員ニ充ツベキモノ)」ヲ削ル

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十八年内令第千三百三十九號ハ第四海軍軍需部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百七十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内 令

一三六一

0276

内令

一三六二

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊警備府

書 記 附 臨時一人

内令第千二百七十六號

海防艦 福江

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

横須賀鎮守府在籍

海防艦 福江

右警備海防艦ト定メラル

横須賀鎮守府在籍

第二十八號掃海艇

右警備掃海艇ト定メラル

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0277

内令第千二百七十七號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

鎮海警備府ノ部鎮海防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄ニ「第三十八號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令第千二百七十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四十設營隊

技術中少尉 附 三人

内 令

一三六三

0278

内令

二二六四

内令第千二百七十九號

昭和十七年内令第千五百八十八號申左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

第六十二警備隊ノ部中人員ヲ左ノ如ク改ム

衛生中少尉、衛生兵曹長 隊附 一人

主計中少尉(主)、主計兵曹長 隊附 一人

衛生兵曹、衛生兵 二人

主計兵曹、主計兵 五人

参照 前記内令ハ第六十一警備隊等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百八十號

昭和十七年内令第千八百八十八號第六根據地隊司令部ノ項申「十二人」ヲ「六人」ニ、「四百五十八人」ヲ「三百四十二人」ニ、「四人」ヲ「二人」ニ、「五人」ヲ「二人」ニ、「十五人」ヲ「八人」

0279

ニ改ム

昭和十八年内令第六百八十七號中第六十二警備隊ノ部ヲ削ル

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十七年内令第千八百八十八號ハ第六根據地隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件  
昭和十八年内令第六百八十七號ハ第六十一警備隊等ニ人員臨時増置ノ件

内令第千二百八十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時減員ス

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六十二警備隊

中少尉(水)、兵曹長 隊附 三人

兵 曹、水 兵 十七人

工作兵曹、工作兵 二人

内令

二二六五

0280

内令第千二百八十二號

昭和十六年内令第千五百十四號高雄海軍軍需部ノ部中「主計科尉官 附 一人」ヲ削ル

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ高雄海軍軍需部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百八十三號

昭和十八年内令第六百四十號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「旭東丸」ヲ削ル

参照 前記内令ハ特設選送船國洋丸等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千二百八十四號

乙種飛行豫科練習生(特)ノ教育ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十八年五月十八日ヨリ之

0281

ヲ適用ス

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

岩國海軍航空隊

中	少	少	少	兵	軍	中	中	衛生	主計	兵
佐	佐	佐	佐	科	醫	少	少	中	中	曹
尉	尉	尉	尉	尉	科	尉	尉	尉	尉	曹
佐	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	曹
教官	教官兼 分隊長	教官	教官	教官	隊附	隊附兼教官	隊附兼教官	隊附	隊附	隊
一人	十三人 (内九人ハ特務士官ヲ以テ 充ツルコトヲ得)	一人	一人	四人	一人	十八人	四人	一人	一人	百三十人 (掌砲兵 六三、掌帆兵 一一、 掌信機兵 一五、掌電信兵 四一)

内令

一三六七

0282



内令

二六八

飛行兵曹	(教員)	三人	(掌飛行兵偵)
整備兵曹	(教員)	四十一人	(掌整備兵 三六)
衛生兵曹、衛生兵		二十一人	(掌航空兵器兵 雷爆一四)
主計兵曹、主計兵		三十五人	(掌經理兵 一)
整備兵		四十人	

内令第千二百八十五號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海防艦定員表中「壹岐」ノ下ニ「福江」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七二頁参照)

内令第千二百八十六號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

0283

昭和十八年六月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十七ノ二中「壹岐」ノ下ニ「福江」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三三頁参照)

内令

一三六九

0284